



子どもたちにオーガニック給食を



私たちは長年、学校給食への安全な食材や地場産物の活用を訴えてきました。今年、有機栽培の食材を学校給食に導入する活動を推進するために「全国オーガニック給食協議会」が設立され、7月に千葉県いすみ市で行われた視察研究会に参加しました。

小中学校の給食に100%有機米を導入したのは全国でも初めてで、大きな話題となったいすみ市ですが、最初から学校給食の有機化をめざしたわけではありません



〇はじめりは自然との共生

2008年に「生物多様性ちば県戦略」をうけ、2012年に「自然と共生する里山づくり連絡協議会」を結成しました。

当初は兵庫県豊岡市にならない環境保全型農業を推進する組織体制をつくり、コウノトリの飼育や放鳥を試みたが断念しました。

〇有機農業者ゼロからの挑戦

いすみ市で、それまで有機農業に取り組んでいた農家はゼロでした。2013年に地元農家たちがこれから次世代に残せる農業として手探りの水稲無農薬米づくりに挑戦しました。2014年には水稲有機栽培の実証事業(3年間)を開始、民間稲作研究所・県普及指導員・JA・市が連携し、2015年からの学校給食導入へつながっています。

有機米の導入率が11%からスタートし、2018年には全国で初めて小中学校100%を達成しています。その年からは有機野菜も導入され、2022年度は8品目が使われています。



〇給食への活用が成功のカギ

あらゆる事業に生物多様性が主流化され、行政と農家の双方が強い意志と覚悟をもって協働事業に取り組んだこと、有機作物を給食に活用したこと成功のカギだと思います。

いすみ市太田市長の「子どもたちのためにオーガニック給食を進めていきましょう。誰もが取り残されないように一緒に頑張りましょう。」という言葉が印象的でした。

「オーガニックなんて難しい、農家に理解してもらえない」と言われるのが今の自治体の現状ですが、少しずつでも取り組むことにより、環境が変わり、社会全体が変わっていくのかもしれない。

〇子どもたちの未来のために

「ゆたかな自然と子どもたちの未来を支えるために有機農業に取り組む」と圃場に立てられた看板があります。

こんな風景こそが、豊かなこどもの心身を育むのではないのでしょうか。

オーガニック給食の実現に向けてこれからも提案を続けていきます。



安里まさえ (岡垣町議)

稲生まりこ (那珂川市議)

国政を
見る!

守られなかった8年前の約束

「関係者の理解なしに、処理水のいかなる処分もしない」

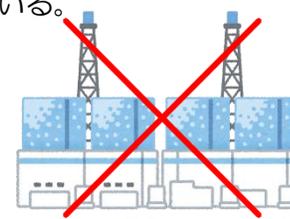
8月24日、政府は東京電力福島第一原発に貯留されている、汚染水を浄化処理した水の海洋放出を開始した。2015年に政府・東京電力と福島県漁連が処理水について結んだ「関係者の理解なしに、いかなる処分もしない」との約束は実質的に守られず、政府は閣議決定で決めた。そして10月5日から2回目の放出がされている。放出は30年程度続くとされているが、それで終わるのか疑問である。

処理水とは、2011年の原発事故で核燃料が溶け落ちたデブリを冷却する水とデブリがある原子炉建屋などに流入した地下水や雨水が混ざりあうことで発生した汚染水を、多核種除去装置(ALPS)で処理したもの。デブリに触れた汚染水には様々な放射性物質が含まれている。

原発事故直後、食べ物や飲料水などの基準値は大幅に緩められたままで、原子力緊急事態宣言は継続中だ。処理水に含まれる放射性物質は、直ちに人体には影響がないにしても、蓄積していくことで生態系に与える影響は未知である。海はゴミ箱ではない。

私たちは、脱炭素社会の実現や電力の安定供給を理由に原発を活用するという政府の方針には反対してきた。福島第一原発の事故から、原発は人間の手に負えないものだということは身に染みているはずだ。廃炉の見通しもたっていない。また、使用済み核燃料から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分場の問題も解決していない。中間貯蔵施設も地方に押し付けようとしている。

原発は何世代にも渡って生命に危険を及ぼすことを忘れてはいけない。温暖化対策として、原発に頼るのは、世界の流れからも逆行している。



改めて言います。

私たちは、次の世代が安心して豊かに暮らせるように、原発のない社会を望みます！！

ネット議員 9月議会 一般質問
市民の声を聴き質問しています。

安里まさえ (岡垣町)

・高齢者が住み慣れた場所で穏やかに暮らすために

笠井かなえ (宗像市)

・親なき後の障がい者支援の充実を
・子ども基本条例をいかし、子どもにやさしいまちづくりを

豆田ゆう子 (福津市)

・教育の機会を均等に享受するための取組について
・未来の子どもたちのための取組について

大賀ふみこ (古賀市)

・市民の命をまもる防災を

稲生まりこ (那珂川市)

・「香害」香りによる健康被害の対策について
・人と猫の調和のとれたまちづくりについて

ふくおか市民政治ネットワーク TEL 092-410-7770

- ふくおか市民政治ネットワーク・古賀 TEL・FAX092-943-7195 / ふくおか市民政治ネットワーク・福津 TEL・FAX0940-42-2973
- ふくおか市民政治ネットワーク・宗像 TEL・FAX0940-37-0700 / ふくおか市民政治ネットワーク・岡垣 TEL・FAX093-283-3423
- ふくおか市民政治ネットワーク・那珂川 TEL・FAX092-654-0224 / ふくおか市民政治ネットワーク・福岡城南
- ふくおか市民政治ネットワーク・北九州 TEL093-693-4170・FAX093-693-4171

現職ネット議員 安里まさえ(岡垣町) 笠井かなえ(宗像市) 大賀ふみこ(古賀市) 稲生まりこ(那珂川市) 豆田ゆう子(福津市)